

耳鼻咽喉科

主な対象疾患

・耳鼻いんこう科疾患全般

*小児も対応

・顔面神経麻痺、耳下腺腫瘍、顎下腺腫瘍

・甲状腺・副甲状腺疾患

診療科の特徴

茨城県北部の中核病院として、良性疾患、救急疾患など多岐に渡る手術を行っております。乳幼児聴力検査として、脳波を利用した聴力検査(ABR、ASSR)、さらに内耳機能を調べるDPOAEなど中等度から高度難聴まで検査しています。

補聴器外来を設け、標準聴力検査のほか、語音明瞭度検査を行い、補聴器の貸出試聴からフィッティング、調整、耳鳴検査も行っています。

県北地区では耳鼻咽喉科医と小児科医が常勤して診療している病院は少ないのですが、常勤の小児科医の管理のもと耳鼻科の手術が行われているのは現在のところ当院のみです。

超高齢社会においてはサルコペニア・フレイルに伴う声帯溝症に引き続き、喉頭の声門閉鎖機能の脆弱性が嚥下困難に連動します。そのため声帯のストレッチをすることにより、声帯機能の維持を目的として「歌う筋肉トレーニング」のYUBA METHODを推奨しています。

嗅覚障害に対する検査として、アリナミンテストのほかに、T&Tオルファクトメトリーを行い嗅覚障害に対する数種類の嗅素に対し、検知閾値と認知閾値を測定しています。

これにより嗅覚障害のより細かな診断が可能となり、認知症の先行症状もしくは初期症状とされる嗅覚障害の検知体制を整えています。さらに、嗅覚刺激法(嗅覚トレーニング)として、我が国の日常にある臭素を当科にて分類して、さまざまな区分からの臭素を嗅ぐように指導しています。

メッセージ

耳鼻咽喉科は、常勤医1名、非常勤2名であり、常勤医の診察日は、月・水・金の午前中。火・木は非常勤となります。常勤医が1名のため悪性腫瘍などの手術が必要な場合は、他院を紹介させていただきます。

完全予約制ですが、当日受診が必要な緊急の場合は、地域医療連携室までご連絡をお願いします。

地域医療連携室直通TEL:0294(23)8343

主任医長
飯塚 桂司

診療実績(2021年)

手術統計

手術術式	件数	手術術式	件数
鼓膜チューブ挿入術	12	声帯ポリープ切除術	2
アデノイド切除術	8		
口蓋扁桃摘出術	25		
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	19		
内視鏡下鼻腔手術I型(下鼻甲介手術)	8		
鼻中隔矯正術	2		
耳下腺腫瘍摘出術	8		
唾石摘出術	2		
顎下腺腫瘍摘出術	2		
甲状腺悪性腫瘍手術	0	その他	65
リンパ節摘出術	1	合計	154

当科におけるアデノイド切除術および口蓋扁桃摘出術の手術適応は、鼻呼吸障害が主因になっていることが多く、手術術式は、内視鏡下にシェーバーによるアデノイド切除術と顕微鏡下に行うコブレーターを用いた通称コブレーション扁桃摘出術を実施しており、低侵襲で切除範囲の精度が上がり、後鼻孔を閉塞するアデノイド組織も選択的に切除することができます。

医師紹介

主任医長 飯塚 桂司 (いづか けいじ)

耳鼻咽喉科学会認定医、補聴器相談医

◆お問い合わせ◆

(株)日立製作所日立総合病院

地域医療連携室

〒317-0077 茨城県日立市城南町二丁目1番1号

TEL: 0294-23-8343

FAX: 0294-23-8412